



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社三十三フィナンシャルグループ
 コード番号 7322 URL <https://www.33fg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 三憲
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 青山 歩
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 059-357-3355

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年3月期第1四半期	18,709	6.1	649	△70.9	2,267	46.4
2021年3月期第1四半期	17,629	△2.7	2,227	32.6	1,548	52.2

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 2,601百万円 (△51.3%) 2021年3月期第1四半期 5,341百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	87.06	48.49
2021年3月期第1四半期	59.51	33.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2022年3月期第1四半期	4,372,375	239,984	5.4
2021年3月期	4,312,845	238,491	5.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 239,600百万円 2021年3月期 238,108百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	36.00	—	36.00	72.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	36.00	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	400	△87.6	1,000	△54.5	31.75
通期	1,700	△50.2	1,900	△54.5	59.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 — 社 (社名) — 、 除外 1 社 (社名) 株式会社三重銀行

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(5)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	26,167,585 株	2021年3月期	26,167,585 株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	115,129 株	2021年3月期	139,776 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	26,037,852 株	2021年3月期1Q	26,026,164 株

(注1) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式数(2022年3月期1Q105,200株、2021年3月期130,100株)を含めております。

(注2) 期中平均株式数を算定するにあたり、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式の期中平均株式数(2022年3月期1Q119,975株、2021年3月期1Q133,215株)を控除する自己株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第一種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円	円	円	円	円
2021年3月期	—	40.929	—	40.929	81.858
2022年3月期	—				
2022年3月期 (予想)		41.286	—	41.286	82.572

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5
(5) 会計方針の変更	5
(6) 追加情報	6
(7) 企業結合等関係	6
(8) 重要な後発事象	7
3. 2022年3月期 第1四半期決算短信の説明資料	8
(1) 計数の表示方法について	8
(2) 損益状況	9
(3) 金融再生法開示債権	11
(4) 自己資本比率(国内基準)	11
(5) 有価証券の評価損益	12
(6) 貸出金の残高	13
(7) 預金等の残高	13
(8) 個人預かり資産の残高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の連結子会社である株式会社三重銀行及び株式会社第三銀行は、2021年5月1日付で株式会社第三銀行を存続会社、株式会社三重銀行を消滅会社とする吸収合併を行い、株式会社三十三銀行となりました。

当社グループは、「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」という経営理念のもと、企業価値向上に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間(2021年4月～6月)におけるわが国の経済を振り返りますと、海外経済の持ち直しを背景とした輸出の増加を受け、企業の生産活動は堅調に推移しました。一方、ワクチンの普及に時間を要するなか、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動制約が個人消費回復の重石となり、非製造業の一部では厳しい状況が続くなど、景況感は業種による二極化が鮮明となっています。

当社グループの主な営業基盤であります三重県においては、中国向けを中心に輸出が増加したほか、5G需要や巣ごもりによる家電需要を受けた電気機械工業を中心に生産活動の持ち直しが続いています。もっとも、「まん延防止等重点措置」の適用などにより消費者マインドの低迷が続くなか、宿泊や飲食関連などの対面型サービス産業では厳しい状況が続いており、総じてみれば景気の回復ペースは緩やかにとどまっています。

このような経営環境の下、当社の連結ベースの業績は次のようになりました。

経常収益は、役務取引の手数料収入が増加したことなどから、前年同期比10億80百万円増加し187億9百万円となりました。経常費用は、営業経費が増加したことなどから、前年同期比26億58百万円増加し180億59百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比15億78百万円減少し6億49百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7億19百万円増加し22億67百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期における連結財政状態につきましては、総資産は、前年度末比595億円増加し4兆3,723億円となりました。また、純資産は、前年度末比14億円増加し2,399億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金等(譲渡性預金含む)は、前年度末比358億円増加し3兆8,137億円、貸出金は、前年度末比199億円減少し2兆7,812億円、有価証券は、前年度末比145億円減少し8,279億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年5月14日に公表いたしました第2四半期(累計)の業績予想数値を上回って推移しておりますが、新型コロナウイルスの影響により信用コスト等が変動する可能性があることを考慮し、業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
現金預け金	535,489	634,354
コールローン及び買入手形	885	714
買入金銭債権	2,301	—
商品有価証券	983	918
有価証券	842,422	827,911
貸出金	2,801,203	2,781,282
外国為替	8,332	9,678
リース債権及びリース投資資産	29,426	29,376
その他資産	65,515	58,691
有形固定資産	25,208	25,596
無形固定資産	10,488	12,214
退職給付に係る資産	4,940	4,053
繰延税金資産	593	592
支払承諾見返	12,204	13,831
貸倒引当金	△27,151	△26,840
資産の部合計	4,312,845	4,372,375
負債の部		
預金	3,697,464	3,734,302
譲渡性預金	80,402	79,402
借入金	243,487	263,084
外国為替	35	16
その他負債	31,908	37,191
賞与引当金	1,237	28
退職給付に係る負債	891	136
役員退職慰労引当金	173	31
株式給付引当金	179	124
睡眠預金払戻損失引当金	324	304
偶発損失引当金	810	533
繰延税金負債	5,232	3,404
支払承諾	12,204	13,831
負債の部合計	4,074,354	4,132,391
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	79,416	79,416
利益剰余金	129,248	130,354
自己株式	△321	△263
株主資本合計	218,342	219,506
その他有価証券評価差額金	19,611	20,059
繰延ヘッジ損益	△37	△35
退職給付に係る調整累計額	191	69
その他の包括利益累計額合計	19,765	20,094
非支配株主持分	383	383
純資産の部合計	238,491	239,984
負債及び純資産の部合計	4,312,845	4,372,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
経常収益	17,629	18,709
資金運用収益	9,209	9,402
(うち貸出金利息)	7,028	7,148
(うち有価証券利息配当金)	2,139	2,121
役務取引等収益	2,783	3,177
その他業務収益	421	748
その他経常収益	5,215	5,381
経常費用	15,401	18,059
資金調達費用	231	150
(うち預金利息)	180	113
役務取引等費用	1,051	979
その他業務費用	118	361
営業経費	10,117	12,167
その他経常費用	3,882	4,400
経常利益	2,227	649
特別利益	—	4
固定資産処分益	—	4
特別損失	41	70
固定資産処分損	41	10
減損損失	—	3
退職給付制度改定損	—	56
税金等調整前四半期純利益	2,185	582
法人税、住民税及び事業税	327	303
法人税等調整額	307	△1,993
法人税等合計	634	△1,690
四半期純利益	1,551	2,273
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,548	2,267

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,551	2,273
その他の包括利益	3,790	328
その他有価証券評価差額金	3,781	447
繰延ヘッジ損益	9	2
退職給付に係る調整額	△0	△121
四半期包括利益	5,341	2,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,335	2,595
非支配株主に係る四半期包括利益	5	6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 会計方針の変更

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、収益の一部について、従来は受取時に一括して収益を認識しておりましたが、一定の期間にわたり履行義務が充足されるものであるため、経過期間に応じて収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(6) 追加情報

(退職給付制度の一部改定)

当社の連結子会社である株式会社三重銀行及び株式会社第三銀行は、2021年5月1日付で合併に伴う制度統一の一環として、株式会社三重銀行の退職一時金制度を確定拠出年金制度へ移行しており、移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 2016年12月16日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 2007年2月7日)を適用し、確定拠出年金制度へ移行する部分について退職給付制度一部終了の処理を行いました。

これにより、当第1四半期連結累計期間において、56百万円の特別損失を計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

(7) 企業結合等関係

共通支配下の取引等

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称：株式会社第三銀行

事業の内容：銀行業

(吸収合併消滅会社)

名称：株式会社三重銀行

事業の内容：銀行業

(2) 企業結合日

2021年5月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社第三銀行を吸収合併存続会社、株式会社三重銀行を吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社三十三銀行

(5) その他取引の概要に関する事項

本件合併は、これまで培ってきた株式会社三重銀行及び株式会社第三銀行の「強み」を完全融合し、金融仲介機能を高度化させることで、より一層地域経済に貢献できる「質の高い地域No.1銀行」を目指すとともに、合併シナジー効果を最大限に発揮し、経営の効率化を図ることで、強固な経営基盤を構築することを目的としております。

また、役職員が活躍できる機会の拡大を図ることで、一人ひとりのモチベーションを高めるとともに、新たな企業価値の創造と更なる成長を目指してまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。

(8) 重要な後発事象

(連結子会社の合併)

当社は、2021年7月29日開催の取締役会において、当社の連結子会社である三十三コンピューターサービス株式会社及び三重銀コンピューターサービス株式会社の合併について決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称：三十三コンピューターサービス株式会社

事業の内容：システム運用の受託業務

(吸収合併消滅会社)

名称：三重銀コンピューターサービス株式会社

事業の内容：システム運用の受託業務

(2) 企業結合日

2021年10月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

三十三コンピューターサービス株式会社を吸収合併存続会社、三重銀コンピューターサービス株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

三十三コンピューターサービス株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

グループ全体における経営資源の有効活用及び効率化・合理化を図り、経営基盤の強化を目的としております。

2. 実施予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等として処理する予定であります。

3. 2022年3月期 第1四半期決算短信の説明資料

(1) 計数の表示方法について

2021年5月1日付で、当社の連結子会社である旧三重銀行及び旧第三銀行は、旧第三銀行を存続会社、旧三重銀行を消滅会社として合併を行い、商号を三十三銀行に変更しております。

そのため、2021年6月期の会計上の三十三銀行の計数につきましては、消滅会社である旧三重銀行の2021年4月の計数は含まれておりません。

本決算説明資料における三十三銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

- **2020年6月期、2020年6月末、及び2021年3月末（自己資本比率を除く）の計数**
旧三重銀行及び旧第三銀行の計数を単純合算
- **2021年3月末（自己資本比率）の計数**
旧三重銀行及び旧第三銀行のそれぞれの計数
- **2021年6月末の計数**
三十三銀行の計数
- **2021年6月期の計数**
 - (A) 決算ベース
2021年5月以降の三十三銀行の計数と、2021年4月の旧第三銀行の計数を単純合算
 - (B) 合算ベース
2021年5月以降の三十三銀行の計数と、2021年4月の旧三重銀行及び旧第三銀行の計数を単純合算

(2) 損益状況

①三十三フィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

		2021年6月期		2020年6月期	
		前年同期比			
連	結 粗 利 益	1	11,836	824	11,012
	資 金 利 益	2	9,251	274	8,977
	役 務 取 引 等 利 益	3	2,197	465	1,732
	そ の 他 業 務 利 益	4	387	85	302
	国 債 等 債 券 損 益	5	180	89	91
営	業 経 費	6	12,167	2,050	10,117
信	用 コ ス ト	7	113	△ 179	292
	貸 出 金 償 却	8	0	0	—
	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	9	△ 545	△ 628	83
	個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	10	928	748	180
	そ の 他	11	6	△ 35	41
	偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益 (注)	12	277	264	13
	償 却 債 権 取 立 益	13	0	0	0
株	式 等 関 係 損 益	14	554	△ 544	1,098
	そ の 他	15	538	12	526
経	常 利 益	16	649	△ 1,578	2,227
特	別 損 益	17	△ 66	△ 25	△ 41
税	金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	18	582	△ 1,603	2,185
法	人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	19	303	△ 24	327
法	人 税 等 調 整 額	20	△ 1,993	△ 2,300	307
法	人 税 等 合 計	21	△ 1,690	△ 2,324	634
四	半 期 純 利 益	22	2,273	722	1,551
非	支 配 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	23	6	4	2
親	会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	24	2,267	719	1,548

(注) 偶発損失引当金の取崩額が繰入額を上回るため、偶発損失引当金戻入益を臨時損益に計上しております。

②三十三銀行【単体】

(単位：百万円)

		2021年6月期(A)		2021年6月期(B)		2020年6月期
		決算ベース		合算ベース		
					前年同期比	
業 務 粗 利 益	1		11,944	13,691	1,896	11,795
(除 く 国 債 等 債 券 損 益)	2	(11,763)	(13,510)	(1,500)	(12,010)
資 金 利 益	3		10,021	11,312	962	10,350
役 務 取 引 等 利 益	4		1,679	1,997	540	1,457
そ の 他 業 務 利 益	5		243	380	391	△ 11
国 債 等 債 券 損 益	6		180	180	394	△ 214
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	7		10,123	11,909	2,059	9,850
人 件 費	8		4,705	5,591	457	5,134
物 件 費	9		4,870	5,556	1,548	4,008
税 金	10		547	761	54	707
実 質 業 務 純 益 (注1)	11		1,820	1,781	△ 164	1,945
コ ア 業 務 純 益 (注2)	12		1,639	1,601	△ 558	2,159
コ ア 業 務 純 益 (除 く 投 資 信 託 解 約 損 益)	13		1,451	1,413	△ 708	2,121
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (1)	14	△	529	△ 504	△ 582	78
業 務 純 益	15		2,349	2,285	418	1,867
国 債 等 債 券 損 益	16		180	180	394	△ 214
臨 時 損 益	17	△	368	122	△ 1,435	1,557
不 良 債 権 処 理 額 (2)	18		838	859	619	240
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	19		832	852	654	198
そ の 他	20		6	6	△ 35	41
偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益 (3) (注3)	21		277	277	254	23
償 却 債 権 取 立 益 (4)	22		0	0	0	0
株 式 等 関 係 損 益	23		191	723	△ 1,089	1,812
そ の 他 臨 時 損 益	24		1	△ 19	18	△ 37
経 常 利 益	25		1,980	2,408	△ 1,016	3,424
特 別 損 益	26	△	68	△ 69	△ 25	△ 44
税 引 前 四 半 期 純 利 益	27		1,912	2,338	△ 1,042	3,380
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	28		1	219	20	199
法 人 税 等 調 整 額	29	△	1,943	△ 2,018	△ 2,290	272
法 人 税 等 合 計	30	△	1,942	△ 1,798	△ 2,269	471
四 半 期 純 利 益	31		3,854	4,137	1,228	2,909
信 用 コ ス ト ((1)+(2)-(3)-(4))	32		32	77	△ 218	295

(注1) 実質業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）

(注2) コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

(注3) 偶発損失引当金の取崩額が繰入額を上回るため、偶発損失引当金戻入益を臨時損益に計上しております。

(3) 金融再生法開示債権
三十三銀行【単体】

(単位：億円、%)

	2021年6月末			2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	171	37	19	134	152
危険債権	435	△ 50	103	485	332
要管理債権	53	5	10	48	43
合計(A)	659	△ 9	130	668	529
正常債権	27,781	△ 240	49	28,021	27,732
総与信残高(B)	28,440	△ 250	179	28,690	28,261
総与信残高比(A)/(B)	2.32	△ 0.01	0.45	2.33	1.87

(4) 自己資本比率(国内基準)

①三十三フィナンシャルグループ【連結】

(単位：億円、%)

	2021年6月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
(1) 自己資本比率	8.87	0.16	8.71
(2) 自己資本の額	2,143	4	2,139
(3) リスクアセット等の額	24,148	△ 412	24,560
(4) 総所要自己資本額	965	△ 17	982

(注) 「総所要自己資本額」は、「リスクアセット等の額」に4%を乗じた金額であります。

②三十三銀行【単体】

(単位：億円、%)

	2021年6月末	2021年3月末	
		旧三重銀行	旧第三銀行
		(1) 自己資本比率	8.54
(2) 自己資本の額	2,032	1,015	997
(3) リスクアセット等の額	23,781	13,059	11,091
(4) 総所要自己資本額	951	522	443

(注) 「総所要自己資本額」は、「リスクアセット等の額」に4%を乗じた金額であります。

③三十三銀行【連結】

(単位：億円、%)

	2021年6月末	2021年3月末	
		旧三重銀行	旧第三銀行
		(1) 自己資本比率	8.64
(2) 自己資本の額	2,082	1,061	1,016
(3) リスクアセット等の額	24,089	13,283	11,211
(4) 総所要自己資本額	963	531	448

(注) 「総所要自己資本額」は、「リスクアセット等の額」に4%を乗じた金額であります。

(5) 有価証券の評価損益

①三十三フィナンシャルグループ【連結】

(単位：億円)

	2021年6月末				2021年3月末				2020年6月末						
	時 価	評価損益			時 価	評価損益			時 価	評価損益					
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損				
満期保有目的	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0
その他有価証券	8,135	287	346	58	8,283	280	357	76	8,577	218	334	115			
株 式	552	219	233	13	577	239	251	11	625	203	225	22			
債 券	4,774	17	26	8	4,735	3	20	17	4,600	5	23	17			
その他	2,807	51	87	35	2,970	38	85	46	3,351	9	85	76			

②三十三銀行【単体】

(単位：億円)

	2021年6月末				2021年3月末				2020年6月末						
	時 価	評価損益			時 価	評価損益			時 価	評価損益					
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損				
満期保有目的	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0	49	△	0	—	0
その他有価証券	8,121	396	446	50	8,288	391	460	69	8,585	382	474	91			
株 式	538	309	312	2	563	331	333	1	612	303	309	6			
債 券	4,774	36	43	7	4,735	23	39	16	4,600	31	46	15			
その他	2,807	49	90	40	2,989	36	87	51	3,372	47	118	70			

(6) 貸出金の残高
三十三銀行【単体】

(単位：億円、%)

	2021年6月末			2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
貸出金	27,942	△ 208	203	28,150	27,739
うち中小企業等貸出残高	22,341	△ 224	633	22,565	21,708
(中小企業等貸出比率)	(79.9)	(△ 0.3)	(1.7)	(80.2)	(78.2)
うち消費者ローン	8,289	△ 31	△ 90	8,320	8,379
うち住宅ローン	7,974	△ 33	△ 77	8,007	8,051
うちその他ローン	314	1	△ 13	313	327

(7) 預金等の残高

三十三銀行【単体】

(単位：億円)

	2021年6月末			2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
預金等	38,298	328	1,160	37,970	37,138

(注) 譲渡性預金を含んでおります。

(8) 個人預かり資産の残高

三十三銀行【単体】

(単位：億円)

	2021年6月末			2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
個人預かり資産	34,584	237	1,055	34,347	33,529
個人預金	25,926	209	557	25,717	25,369
投資信託	989	△ 55	41	1,044	948
保険(注)	7,595	83	465	7,512	7,130
公共債	72	△ 1	△ 7	73	79

(注) 保険は、一時払個人年金保険及び一時払終身保険等の販売累計額であります。